

小論文試験は、幅広い知見によって支えられた分析力と論理的思考力、思考の過程および結果を的確に表現する論述力、正義と権利に敏感で、社会・経済に対する強い関心を持ち、そこで生じている問題を発見し、これを適切に処理することができる基本的能力を受験者が有しているかを判定する目的で実施される。

本小論文試験は、次の点を評価するものである。問題文を正確に読み取って適切にその要点をまとめ、簡潔に表現することができるかという点、問題文において記述されているところを超えて問題を探索し、当該問題を分析して、その思考過程を表現することができるかという点である。

問題文は、保険原理を踏まえた上で、保険の社会化について説明をしている。設問1においては、問題文が述べている給付・反対給付均等の原則について正確に理解し、その具体的な内容をわかりやすくまとめることが求められる。設問2においては、保険料設定について、保険原理の実現で生じうる問題、保険の社会化で生じうる問題等を見出し、当該問題の処理の方法を説得的に展開することが求められる。